



世界の充電器等見て歩き

ヨルダン王国 ～ 2023年12月

-2-

ヨルダン充電インフラ整備コンサル業務（JICA依頼）

意見交換・折衝

エネルギー・鉱物資源省(MEMR)

ヨルダン再生エネルギー及びエネルギー効率化基金(JREEEF)

エネルギー・鉱物規制委員会(EMRC)

国連開発計画(UNDP)

公共事業・住宅省(MPWH),

大韓貿易投資振興公社(KOTRA)

世界銀行(WB)



MPWHとの意見交換



MEMRとJREEEFとの
合同意見交換

⇒ 日本の開発援助として建物・住宅の断熱化を進めることと、電力DSMの一環としてV2H/V2Gを推進する方向で大筋合意



東京都内と比べると10倍以上
の数の日産リーフがアンマン
市内を走っている



政府機関の駐車場にはことごとく
太陽光パネルが設置されている。
EVも数多く駐まっている



東京都内をはるかに超える数のEVが走り回っているアンマン市内

フィリピンのEVと充電器視察 ～ 2024年10月

-3-

フィリピンのEVと規格 ... CCS2付きがなし崩しの流入している。規格は定まっていない。



DoE(Dept. of Energy)に設置されているCCS2充電器



DoEのバス用充電施設とBYDの電動バス



GB/Tの充電器も実験的に設置

ショッピングモールにあるEV用充電器 ... Type2が多い



マニラ郊外のマカティ地区にある大型ショッピングモール「アップタウン・モール」に複数設置されたAC充電器（Type 2）。出力は7kWと、マレーシア等にある22kWに比べると低出力。



CHAdemoの充電器も設置

台湾の電動バス乗車（2024年11月）と、今後の日本への展開

-4-

車体長12m*級、路線バス用

* 欧州なども12mが一般的だが、日本の路線バスは10.5m程度がほとんど

製造：成運汽車製造有限公司（Master Bus Manufacturing Ltd. 略称：Master）

電池容量：109kWh、電池種別：LTO（東芝製 SCiB）、充電規格：CCS1



台湾中西部の彰化市で運行されている成運汽車製の12m級電動バス。Masterのエンブレムが付いている。

台北市内幹線でも運行中の12m級電動バス。ナンバーに「電動車」の表示が付く。

日本への導入

- ・ 両備ホールディングス株式会社（本社：岡山県岡山市）が独占販売契約
- ・ 2025年までに日本国内に1,000台以上を販売の方針
- ・ まずは右ハンドルの9m*車



日本への輸入が計画されている、右ハンドル9m車

マレーシアの現状 ～ 2024年12月

-5-

日程: 2024年12月7～11日(土～水)

UiTM(国立マラ工科大学) BEST Lab、
同大・機械工学部、
Petronas(石油・ガス供給国営企業)、
PRSB(Petronas傘下の研究機関)、
PHN(自動車・航空・宇宙関連部品メーカー)

概要:

- ・ UiTMはbi-di charger開発を通して
エネマネを志向



クアラルンプール市内 Titiwangsa 駅前で待機する
SKS製の電動バス。組み立てはマレーシアだが、
機器類は中国からの輸入品が多いとのこと



マレーシアOEMで
あるPeroduaが発
売予定の、マレー
シア国産初の
BEV "emo-II"
CCS2装備予定



NEDOにより設置されたバス用
CHAdeMOパンタグラフは健在。
23:00ごろ充電開始。人工行政都市
プトラジャヤの駅前にて

【参考・明日】OCA—CHAdemo Industrial Workshop

-6-

日時： 2025年3月4日（火）午後2～4時

場所： 水道橋 全水道会館

中会議室（ + Zoom Webinar : ハイブリッド開催 ）

発表：OCA / ELAAD, Lonneke Driessen氏

「OCPPの現状と展望, OCPP日本語版の進捗, 認証についてなど」

